

各委員会・分科会での主な審査概要

総務企画委員会・分科会

質 ニツ井町梅内にある旧子育て支援センター（旧さんぼえむ）の建物等を無償貸与ではなく無償譲渡と判断した理由は。

答 譲渡を希望する梅内聚楽が活用することにより、地域の活性化が図られると見込んだこと、また、当該団体の自主性を尊重し、責任を持った管理運営を求める考えから、無償譲渡としたものである。

質 所有者となることに伴って生じる責任について、相手方へ十分な説明を行ったか。

答 物件補償や建物解体経費の責任について説明し、了承を得られている。

質 譲渡後の活用例と地域課題の解決に期待することは。

答 健康増進、孤立解消、日常生活支援、歴史文化の伝承、各種行事の開催等の事業に活用すると伺っている。これらの事業実施により、交流人口の増加や移住定住につながることで、梅内聚楽が課題と捉えている集落の維持継続のために役立てられるものと期待している。また、令和4年度の国の交付金活用を見込み、地域づくり計画の策定に取り組みられているとのことで、山菜倶楽部の活動、宝の森林（やま）プロジェクト等、

梅内聚楽ならではの強みをさらに伸ばすための取組や里山ツアー等の事業を検討しているとのこと。

質 ふるさと納税寄附金について、12月の件数増を例年の傾向とし、これを見込んだ補正額か。

答 令和3年11月末現在の寄附実績は、1万3333件、1億4323万7000円で、2年同期比では3699件、2769万円、それぞれ増となっている。2年12月は4846件、9144万2000円で、12月に集中する傾向が見られており、これらを勘案し、伸び率を乗じる等により補正予算額を積算した。

質 燃料単価の上昇による補正額の積算方法及び燃料費の補正予算の総額は。

答 灯油、軽油、ガソリン等の燃料単価は、3年度当初予算編成時と比較し、約2〜4割の上昇となっている。今回の補正予算における積算方法の基本は、当初予算における見込数量に補正予算積算時点の燃料単価を乗じた額と、当初予算額との差額を追加しようとするものである。燃料費の補正予算総額は合計で1836万8000円である。

（渡邊正人）

文教民生委員会・分科会

質 能代市老人憩の家の指定管理者の指定については、大規模修繕を要する状態になれば廃止を検討することとあったが、令和9年までの指定管理期間中にそのような状態となった場合の対応は。

答 当面は廃止を検討するような状態にはならないと考えているが、不測の事態により指定管理期間中で廃止を検討するような状態になった際は、改めて対応を協議する必要がある。

質 福祉灯油事業費に関し、助成額を1世帯当たり5000円とする根拠は。

答 需要期における1世帯当たりの月使用量を約200リットルと見込み、予算積算時点の1リットル当たりの灯油価格108円から、100円を超える分の8円を乗じ、これに1月から3月までの3か月分を乗じたもので算定している。

質 月使用量を200リットルとした理由は。

答 平成18年の石油情報センターの調査結果を基に同程度と判断したものである。



質 障害福祉サービス等給付費に関し、1億3400万円増額の内訳は。

答 居宅介護で約2500万円、短期入所で約4300万円、生活介護で約5000万円、就労継続支援で約1600万円となっている。

質 以前に比べて利用者が増えたことによる増額と思われるが、今後増加が見込まれるか。

答 今回の増額の要因は、利用者数の増のほか、サービスを提供する事業者が増えたことや給付費の報酬改定等もある。今後の見通しについては、障がい者数については横ばいであるが、事業者数の増に伴い、利用者数は増加すると見込まれる。

質 ふるさとキャリア教育推進事業費に関し、中学生ふるさと会議の中止について、オンラインによる実施は検討されたか。

答 この会議は、各校が実践している内容を持ち寄り、多くの人数で共有することに意義があるため、検討した結果、対象者が限定されるオンラインでは行わないこととしたが、今後共有できるような方法も検討していきたい。

（安井和則）